

平成29年度 朝霞市立朝霞第一中学校 学力向上プラン

学校教育目標
「 自立 貢献 信頼 」
1. 自ら学ぶ生徒
2. 思いやりのある生徒
3. 健康に努める生徒

研究主題 「生徒の特性を踏まえた誰もがわかる授業づくり」
副題 ～ 授業のユニバーサルデザイン化をめざして ～

PDCAサイクルをいかした課題の改善			
Plan＝計画	Do＝実行	Check＝評価	Action＝改善
① 題を改善するための計画 ・指導計画・指導方法・評価方法・研修計画の工夫改善	②計画に基づく指導の実践 ・各教科等における指導の実践・研修の充実と実践	② 学力調査等のデータを生かした実態の把握 ・本校の生徒の実態・本校の教育活動の成果と課題	④課題の絞り込み ・次年度の教育計画、全体計画、年間計画等への反映

「各教科の具体的な取り組み」									
国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術家庭	特別支援教育
〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉	〈導入〉
「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す	「目標（ねらい・目的）」を明確に示す
<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識・目的意識を明確にした魅力的な学習課題の設定。 ・ICT機器の効果的な活用による興味・関心を高める導入の実施。 ・小テストを活用し、既習事項の反復学習を計画的・継続的に行う。 〈展開〉 ・話し方の模範例を示し、音声発表時の基本的な技能・動作を身につけさせる。 ・少人数での学び合い活動を通して、理解を深め、活用できる能力を養う。 ・さまざまな文章の書き方を伝え、習得できるよう繰り返し実践していく。 〈まとめ〉 ・家庭学習と小テストを関連付けて行い、基礎・基本的な学力の定着を図る。 ・読書環境の充実を図るとともに、日常的な読書の推進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを実施し、基礎用語の定着を図る。 〈展開〉 ・班でのディベート、発表など言語活動を通して、問題解決型のコミュニケーション能力を高める。 ・ワークシートや多くの資料を提示し、基礎学力の向上を図る。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 本時の授業で分かった事や次回への課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習問題に取り組み計算力の向上、基礎基本の定着を図る。 〈展開〉 ・プリントや小テストを作成、活用し、学習の一助とするとともに、理解を深めさせる。また2学年で実施の少人数指導において、個別指導の充実させ、学力の向上に努める。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 ・自己評価カードを利用し、振り返りを行うことで課題意識を持ち、学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項をチェックテストで確認をする。 ・視覚でとらえられるよう教材を提示する。 〈展開〉 ・学習内容の定着を図るために、身近な題材を取り入れる。 ・実験時には、教材教具を充実させ、できる限り個別化を図る。実験結果をレポートとして表現する習慣を身につけさせる。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 ・話し合いやレポートの作成により、科学的思考・表現の定着を図り、生活に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動と一体化した文法指導を行い、自己関連性のある活動を繰り返し、英語のコミュニケーション能力の向上を図る。 〈展開〉 ・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことを関連づけ、総合的な育成を図る。 ・帯学習として、まとまりのある英語を読んだり、英語を聞いて理解したりする活動を行う。 ・デジタル教科書を始めとするICT機器を効果的に活用し、生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 評価カードを使い、学習内容と次の課題を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声体操や発声練習をすることで、基本的な歌唱技能を身につけさせる。 〈展開〉 ・曲想表現の工夫を考え、発表することで表現力を高め、主体的に活動できるようにする。 ・相手を尊重し、認め合いグループ学習を行うことで協力する態度を養う。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 ・評価カードによる振り返りで次時の授業への課題意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理カードを使い、授業ごとに内容と目標を確認し、見通しを立てて表現及び鑑賞活動を行えるようにする。 〈展開〉 ・完成までの流れを提示し、現在の自分の段階を確認しながら制作できるようにする。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 自己管理カードを使い、授業の目標を達成できたかの振り返りと、次回の授業への課題を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動、慣れの運動、補強運動を単元毎に変え、主運動をスムーズに行わせる。 〈展開〉 ・ペア学習やグループ学習、チーム学習において主体的に考え、仲間と共に学習する環境を整える。 ・自らの課題を解決し技能の向上を図る。 〈まとめ〉 ・本時の達成度を確認できるようなゲームや技能テストを行う。 ・学習カードで自己評価をし、課題意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活実態に合った課題を設定し、実物等を提示することで興味関心を高める。 〈展開〉 ・作業の流れを提示し、実生活と結び付け、技能を習得させる。 ・話し合い活動を充実させ、互いの意見を認めあう場面をつくる。 ・ICT機器を効果的に活用し生徒の関心意欲を高める。 〈まとめ〉 ・スキルアップした部分を賞賛し、さらなるスキルアップに向けて意欲の向上を図る。 ・目標に対しての振り返りをし、次時の授業への課題意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて授業の準備をする。 ・正しい姿勢で挨拶し授業に取り組ませる。 〈展開〉 ・ICT機器を使い関心を高め、集中して学習に取り組ませる。 ・身近な生活の中から学習内容を見出し、実生活の中で活かせる力を育てる。 ・友達と協力して授業に取り組めるようにする。 〈まとめ〉 ・自分自身で行った取り組みに対し、自己評価を行う。 ・正しい姿勢で挨拶し授業を終える。